

テコンドー女子 世界ランク1位

岡崎(東北福祉大)ロスに照準



得意の上段げりを披露する岡崎＝仙台市青葉区の東北福祉大

テコンドーの申し子が、10代最後の年に世界一の称号を得た。仙台市出身で東北福祉大2年の岡崎陽向(19)が破竹の勢いで世界ランキング1位に躍り出た。今夏のパリ五輪出場を逃した挫折を糧に、4年後のロサンゼルス大会に照準を合わせる。(スポーツ部・北村早智里)

11月に開催された「カターリオープン2024」の女子キヨルギ(組手)に出場し、最軽量の46キ級で優勝。世界テコンドー連盟(WTF)の階級別世界ランキング1位に立った。12月には全日本選手権49キ級を2連覇し、来年の

来月20歳「大事な1年になる」

世界選手権(中国)の出場権を初めて獲得した。

「良い形で1年を締めくくられた。駄目な時も周囲が支えてくれたおかげ」と感謝する。

「駄目な時」とは1月のパリ五輪アジア予選の日本代表選考会。優勝候補として臨んだが、準決勝で激しい攻防の末に敗れた。

意気消沈したが、師匠である元日本代表、相原儀雅さんの励ましに奮い立った。大学のサポートも受けながら、テコンドーの本場韓国をはじめ、カナダ、オーストラリアなどの大会で各国の猛者と真剣勝負した。

身長162センチは、国際舞台では小柄。4年後に向け、より細かくステップを刻み、スピードを生かす新たなスタイルを模索する。「体力が求められる戦法。筋力トレーニングの成果もあり、当なりに強くなった」と手応えを口にす

る。

五輪は幼い頃からの夢だ。

4歳の時、親戚でもある相原さんが指導する相原道場(仙台市太白区)の門をたたいた。

「オリンピックで金メダルを取る」と決意し、小学4年にして相原さんの元で下宿生活を送るように。現在も道場の寮で暮らし、稽古に集中する。

五輪には46キ級がなく、岡崎が目指すのは最軽量の49キ級。WTFの「五輪ランキング」5位以内なら大陸別予選を経ずに出場できる可能性が高い。46キ、49キ級のポイントが対象となるランキングは現在16位。来年以降も両階級の試合を重ね、出場権獲得を狙う。

「夢だったオリンピックを、現実的に目指せるところまで来た。来年は大事な1年になる」。1月に20歳を迎えるホープは、飛躍の20代へと決意を固める。